妻籠宿のお店紹介　市外局番（0264）

旅館・民宿 宿

1	藤乙（旅館）	57-3009
2	松代屋（旅館）	57-3022
3	大吉（民宿）	57-2595
6	阪本屋（民宿）	57-3111
7	下嵯峨屋（民宿）	57-3124
8	波奈屋（旅館）	57-3106
9	まるや（民宿）	57-3117
10	つたむらや（民宿）	57-3235
11	かめやま（民宿）	57-3187
12	下村（民宿）	57-3158
13	こおしんづか（民宿）	57-3029
47	寺下丁子屋	57-2327
50	みはらや	57-4053
51	丁兼（澤田屋）	57-3268
52	あぶらや	57-3178
53	ささき	57-3137
54	ふじはら民芸店	57-3120
55	新井筒屋	57-3109
56	新まきの	57-3020
59	いんきょ	57-2131
61	木の道	57-4660

味わい所 味

14	やまぎり（五平餅）	57-3134
15	吉村屋（そば）	57-3265
16	俵屋里久（そば）	57-2522
17	えのき坂（そば）	57-3138
18	忝びや（甘味処）	57-3054
19	満寿庵（菓子処）	57-4111
20	鈴屋（甘味処）	57-3891
22	俵屋（五平餅）	57-2257
23	わちのや（おやき）	57-2487
27	しんや（五平餅）	57-3221
28	音吉（山家料理）	57-3600
31	金剛屋（そば）	57-3116
38	木ノ花屋	57-3228
48	白木屋（喫茶）	57-3183
49	おもて（五平餅）	57-2682

お土産・木工製品 品

33	田丸屋	57-3275
35	槌屋	57-3175
36	いさばや	57-3064
37	あづまや	57-3890
39	岩井屋	57-3008
40	永徳屋	57-3010
41	JA妻籠	57-3007
42	伊勢屋	57-3112
43	高麗屋	57-3113
44	新岩井屋	57-3538
45	丸田屋	57-3434
46	さしものや	57-2865

その他 他

63	郷原酒店	57-3021
64	青木（居酒屋）	57-3288
66	松下商店（食料品）	57-3041
67	茶房画廊 康	57-2024
68	尾張屋	

バス・タクシー

おんたけ交通（バス）	57-2346
南木曽観光タクシー	57-3133

駐車場

バス	2,000円
マイクロ	1,500円
乗用車	500円
二輪車	200円

※駐車料金は保存事業に活用されています

中央駐車場	57-2581
町営第1駐車場（バス）	57-3883
町営第2駐車場	57-3885
町営第3駐車場	57-4032

地元工芸実演中

- ひのき笠
- 手漉き和紙 体験
- 和紙 こより馬
- 木曽駒 ・干支
- 銘木ボールペン

詳しくは観光案内所までお問い合せください

～木曽路はすべて山の中である～

中山道ハイキングコース

国指定史跡（信濃路自然歩道）

木曽の自然に抱かれて中山道を歩く（信濃路自然歩道）

目的と時間にあわせてハイキング

昔の旅人の気持ちになって中山道を歩いてみませんか。

妻籠～南木曽駅～天白公園

ハイキングコース

JR南木曽駅から妻籠宿へ

季節を楽しむ（徒歩1.0時間）

妻籠から旧中山道を歩きましょう。
歴史の橋「桃介橋」を渡りきるとそこはこのハイキングの終点「みつばつつじ」大乱舞！
（4月上旬～中旬）

馬籠～妻籠

ハイキングコース

お元気コース（徒歩2.5時間～3時間）

全長9Kmゆっくり3時間かけて歩いてみましょう。
馬籠～馬籠峠は急な短い坂
妻籠～馬籠峠はゆるやかな長い坂

省エネコース（徒歩1.5時間）

馬籠（妻籠）から峠までバスかタクシーで行って、下り坂のみ歩いてみましょう。
峠～妻籠はゆるやかなスロープをゆっくり下って1.5時間。

準備が整ったら昔の旅人の気持ちで歩いてみよう

完歩証明書

楽しい旅の記念に是非どうぞ

妻籠宿、馬籠宿各案内所にて、中山道完歩証明書1枚300円で販売。また、各宿泊施設にて妻籠⇔馬籠ハイキング券をお受け取りになり、観光案内所（馬籠・妻籠のどちらでも）にお持ち頂くと、桧（ヒノキ）で作られた完歩証明書1枚300円を150円でお求めいただけます。

手荷物運搬サービス

身軽になって歴史の道を歩きましょう

【受付期間】3月20日～11月30日まで毎日
【受付時間】午前8時30分～11時30分
【到着時間】午後1時
【料　　金】手荷物一個につき500円
【取 扱 所】●妻籠宿観光案内所
TEL.0264-57-3123
●大妻籠取扱所（こおしんづか）
TEL.0264-57-3029
●馬籠宿観光案内所
TEL.0573-69-2336

しらきあらためばんしょあと
白木改番所跡
寛延2年（1749年）から明治2年まで、「木曽五木」（ひのき・さわら・あすなろ・こうやまき・ねずこ）をはじめとする伐採禁止木を取り締まる番所がありました。

いちこくとちたてばちゃや
一石栃立場茶屋 無料休憩所
江戸中期の茶屋

こやすかんのん
子安観音
昔からこの村付近に住む者は難産しないと言われており、信仰の対象として子安観音が祭られている。

おたき・めたき
男滝・女滝
吉川英治の「宮本武蔵」の舞台となった滝です。また、滝壷に金の鶏が舞い込んだという倉科様伝説が伝わっています。

くらしなそれいしゃ
倉科祖霊社
天正14年（1586年）、松本城主　小笠原貞慶の重臣倉科七郎左衛門朝軌は、この辺りで地元の土豪たちに襲われ、従者30余人とともに全滅させられ、その霊を祀っています。

この社は倉科の霊を鎮める為に祀ったものです

つまごじょうし
妻籠城址（長野県史跡）
戦国時代より木曽の南の押さえとして重要であった。小牧・長久手の戦いの折、徳川軍に対して難攻不落を誇ったと言われている。

うわくぼのいちりづか
上久保の一里塚
江戸時代から七十八里目の塚。
三月には枝垂梅がみごとです。

安全対策の熊よけの鈴

妻籠・馬籠観光案内所で貸し出しもしています

木曽路を旅した先々の宿場町で「木曽街道づん」に焼印を押して旅の思い出に

木曽五木を使った地元工芸品

凡例
トイレ
バス停
中山道

妻籠のまつり

和智埜神社祭礼
【七月二十三・二十四日】
妻籠宿の鎮守様の祭り。大神輿が「げーにもさよな」「さよな、さよな」の掛け声で威勢良く宿場内を練り歩きます。

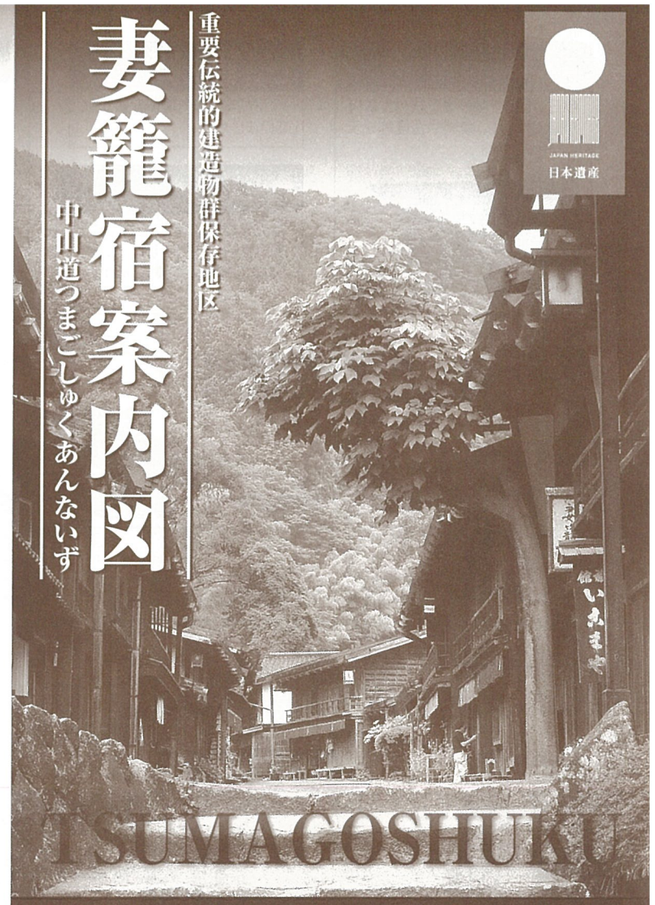
妻籠宿火まつり
【八月 第四土曜日】
妻籠宿内ふれあい館に於いて、火伏せの神事と郷土の伝統芸能が楽しめます。

文化文政風俗絵巻之行列
【十一月二十三日】
150名前後の人々が、宿場役人・武士・浪人・鳥追い女・無宿・早駕籠・目明し・飛脚・虚無僧・女旅・男旅などに扮して、文化文政時代に中山道を歩いたであろう旅人の姿を再現します。

重要伝統的建造物群保存地区

妻籠宿案内図

中山道つまごしゅくあんないず



歴史の面影を残す宿場町

江戸と京を結ぶ中山道は、
山深い木曽路を通ることから
木曽街道とも呼ばれていました。
中山道六十九次のうち江戸から数えて
四十二番目となる妻籠宿は、
中山道と伊那街道が交叉する
交通の要衝として古くから
賑わいをみせていました。

町並み保存の原点

the most beautiful villages in japan

お問い合せ

南木曽町観光協会
長野県木曽郡南木曽町読書3668-1
TEL:0264-57-2727　FAX:0264-57-2270
E-Mail. kankou@town.nagiso.nagano.jp
http://www.town.nagiso.nagano.jp/kankou/

妻籠観光協会　妻籠宿観光案内所
長野県木曽郡南木曽町吾妻2159-2
TEL:0264-57-3123　FAX:0264-57-4036
E-Mail. info@tumago.jp
http://www.tumago.jp/